

「本を読もう」
教頭 後藤 司
デジタル版の図書館報第二号です。図書館報も手軽に、何度も読むことがで
きるよう昨日からホームページにアップしています。図書館の本を少しですが会
議室へ移しています。気軽に本に触れる機会を持つてほしいという願いからです。
是非、足を運び手にとって見てください。

必要な情報や知識はインターネットで得るのが当たり前になっています。スマート
の画面に向かってつぶやけば、一瞬で疑問を解決してくれるサイトが表示されま
す。情報を到達するスピードと手軽さという点で、インターネットは本（以下本
といふ言葉には読書と意味

よりも格段に優れています
が、本にはインターネットにはない強みがあります。
インターネットはその情報を導き出すまでの過程を見ることができません。しかし、本は情報に加え、著者
がある物事に対して、どのようになります。論に至ったかという、思考過程を知ることができます。
良い点が取れないのと同じで「なぜそうなのか」という思考過程を知ることは大切なことです。さらに、著者特有の「ものの見かた」を知ることができます。「ものの見方」を多く読むことで多様な「ものの見方」を持つことができます。「ものの見方」が増えます。

も含めて持たせています）
よりも格段に優れています
が、本にはインターネットにはない強みがあります。

「本を読もう」
教頭 後藤 司
デジタル版の図書館報第二号です。図書館報も手軽に、何度も読むことがで
きるよう昨日からホームページにアップしています。図書館の本を少しですが会
議室へ移しています。気軽に本に触れる機会を持つてほしいという願いからです。
是非、足を運び手にとって見てください。

も含めて持たせています）
よりも格段に優れています
が、本にはインターネットにはない強みがあります。

図書館報

第 54 号

発行 社高等学校
編集 図書委員会

ができるようになります。

高校での課題研究や大学での論文作成では、ネットで情報の概略を得たうえで、より深いところを本に求めるとよいでしょう。

また、本は語彙力を多くし表現力を高めしてくれます。人が考えるときには言葉を使いますが、語彙力は考える力の基礎になります。語彙が少なければ使える言葉が少なくなり、考えも単純になってしまいます。逆に語彙が多いと、考えるときに使える言葉も多くなり、より細かくものごとを考え、表現できるようになります。

志望理由書を書くにしても、日頃から本をよく読む人との差はない人の差は大きいです。スポーツや音楽でも身近に手本があると上達が早いように、本は文章の良い手本を示してくれます。

「スター」は原作を読んだ人ラマの原作を読んでみてはどうでしょうか。「ハリー・ポー

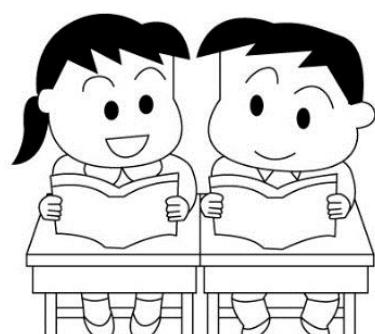
タード」は原作を読んだ人も多いと思いますが、原作と映像ではずいぶん違っています。新海誠「小説君の名は。」、池井戸潤「陸王」、百田尚樹「永遠のゼロ」、カズオ・イシグロ（ノーベル賞作家）「わたしを離さないで」…あげればきりがありません。先に原作を読み後

で映像を見て比べるのもおもしろいです。本を読む楽しさを味わってください。

皆さん、お父さんお母さんになったときに、さりげなく子どもの近くに本を置いてみてください。ビ

ル・ピート「ワンプのぼし」、せなけいこ「おひさまとおつきさまのけんか」などはいかがでしょう。大人が読んでも考えさせられます。

趣味は読書です。特に小説





SLA 読書感想文

コンクール
播磨東地区入選

十六歳。九十歳から学ぶ。

一年一組 中濱 未來

大正十二年生まれ、九十
二歳の大作家、佐藤愛子さ
んが断筆宣言後に書いた
新たな代表作品に、私はと
ても興味が湧きました。

「どこに向かうか考える上で、とても参考になりました。」
とおっしゃっていました。
あの歌丸さんをして「教科書」と言わしめるこの本に
私は益々興味を持ち、のめり込むように読み進めま
した。読んでみると、期待

その中で、愛子さんがタクシーの運転手に「スマホとケイタイはどう違うんですか?」という単純な問い合わせをした話がありました。

質問された高齢のタクシードライバーは、運転手は分からなかつたそうです。もうすぐ高校生だからと渡され、メール

や電卓機能が便利だからと使っているこの近代的な道具が、スマホなのかケータイなのか、実は私も正直なところ分かりません。愛子さんはこう続けます。

と、人間みんなバカにな
る。」「日本人総アホ時代
がくる。」

私のように便利さだけを求める、その正体さえ分からぬのに使い続ける私達は便利ですが、使い方によつてはその便利さが私達をダメにすることがあります。調べたり考えたり記憶する努力をせず、すぐに答えが出てしまう便利さは、私達の知能のみならず感受性をも低下させます。直接会話をしないことにによる人間関係のトラブルも深刻化しています。愛子さんは、そのようなことにならないためにも、スマホなどの文明の利器をむやみに使わず、自分の力を信じて様々なことに挑戦すべきだという忠告をしてくれているのだと思います。今の私は、分からぬことがあるとすぐにスマホで調べてしまいます。ＳＮＳなどとは無縁でイマドキではないと思つてた私も、無意識のうちに自分の頭で考へない便利な生

活を送っていたことに気づかされました。日本人総アホ時代の一員にならなければ、いためには、頼るべきはスマホではなく自分であります。

「進歩」というものは、「人間の暮らしの向上」ひいては「人間性の向上」のために必要なものであるべきだ。」

このように、文明の進歩は私達の暮らしを豊かにしましたが、それとひき替えに、かつて人間の中にあ

つた謙虚さや感謝、我慢などの精神力が摩滅していくと愛子さんは指摘します。私達は便利な世界に

いるにも関わらず「もつと便利に」「もつと快適に」と更に上を求めます。そして、便利なことが当たり前になり、ありがたみを忘れ、その便利さなしには生きていけなくなつていま

す。便利を求めるあまりに便利に支配されるという本末転倒の状況が、感謝の気持ちをなくしているよ

うに感じます。何事も自らが努力して手に入れることがにより、便利さは最大限生かせるのではないかと思いました。

最後に、『九十歳。何がめでたい』という衝撃的な題名。反発感満載の表現から、愛子さんが今の世の中にとことん不満を持つていることが分かります。時代が進むにつれてどんどん便利になつたが、それでもやはり不便だった若い時の方が良い。便利さと引き替えに、とても大事なものが欠けてしまつていて。愛子さんのもどかしい気持ちが、この題名から伝わってきました。ビーフカツにプラスチックのかヶラが混入していたかもしれないのにで四万枚破棄したというニュースに対しても、愛子さんは、もしも混入していくれば舌に触るだろうからその時に吐き出せばいいだけの話なのに、と言つています。異物混入の商品を回収するのは正論か

新たに購入した本を会議室に置きました。

『Oxford Reading Tree』

子ども向けの英語の絵本で楽しく英語を学べます。1 話完結でレベル別になつてるので、基礎から無理なく読み進められます。今年度は Stage 1 ~ 3 を入荷しました。英語が苦手な人にぜひ！



硬派な歴史新書でありながら、異例の四十万部を突破したベストセラーです。誰もが知つていて、誰もその詳細を知らない応仁の乱を新進気鋭の歴史学者が詳述します。なぜ英雄なき応



君主に必要なのは
人間と野獸との
巧みな使い分けである

現実の人間を見つめる名著を複数
詳細な註を付した名著の決定版

BIGLOBE Strategy

吳座勇一『応仁の乱』

硬派な歴史新書でありながら、異例の四十万部を突破したベストセラーです。誰もが知つていて、誰もその詳細を知らない応仁の乱を新進気鋭の歴史学者が詳述します。なぜ英雄なき応

仁の乱はズルズル十一年も続いたのでしようか。同時代を生きた奈良の僧侶の視点から、丹念に読み解く骨太の一冊です。



マキアヴェリ『君主論』

イタリア統一を願うマキアヴェリが主君に捧げた書です。「大事業はけちとみらる人物によつてしかなしとげられない」「運命は女神だから、打ちのめし、突きとばす必要がある」彼の真意はどこにあるのでしょうか。官僚としての実体験に基づく冷徹なまでのリアリズムに貫かれ、ルネサンス期から波紋を呼び続けるリーダー論の名著！

皆さんは自分があれやこれやと考えて、その時は全くわからなかつたのに、別のことをしていてふと「あれは、そういうことだつたんだ！」と思つたことはありますか。あるいは、何かを見たり聞いたりした時に、以前考へていたことが急激に一本の線に繋がるよ

うな声をよく聞きます。「何になるか」についてはまた今度授業などで話すとして、そもそも「学び」とはなんでしょう。

勉強をしていて、すぐに結果が出ずには悩んでいる人はいませんか。人との付き合いでも上手くいかないことがあります。この「ある時間、待つてみてください」という言葉があつて、簡単に解決しようと思つていませんか。定石はあるかもしれない、しかし決まった形のないものに対しても諦めがあつたりしませんか。「学びの瞬間」が訪れるのは、もちろん古本屋だけではありませんし、5年後に必ず、というわけでもありません。ただ、その「瞬間」が来るまで、い

私はこの古館さんのインタビューを紙面で読んだ時、ある本の中の一言を思い出しました。大江健三郎著、「自分の木」の下で『い』う本の「ある時間、待つてみてください」という言葉です。この意味するところは、数式の計算に使う括弧を例に出し、「生きてゆくうえで、本当に難しい問題にぶつかつた時、一応それを括弧に入れて、「ある時間」

おいておく」というものであります。ある時間おいておくうちに、問題を解くヒントが見つかるかもしれません。「ある時間」の間に成長し、「答え」を導き出せる自分になつているかもしれません。あ

教員からメッセージ

「学びの瞬間」を待つ

国語科 辺見翔太

うな、痛快な経験はないでしょうか。

十数年にわたる報道番組

担当を降板し、今バラエティなどで活躍している古館伊知郎さんが、先日インタビューでこのよう話をされていました。

—「疑問や謎を脳内で熟成させて、5年後とかに古本屋で答えに出会つたりする。それが学びの瞬間だと思ふんです。」

勉強をしていて、すぐに結果が出ずには悩んでいる人はいませんか。人との付き合いでも上手くいかないことがあります。この「ある時間、待つてみてください」という言葉があつて、簡単に解決しようと思つていませんか。定石はあるかもしれない、しかし決まった形のないものに対しても諦めがあつたりしませんか。「学びの瞬間」が訪れるのは、もちろん古本屋だけではありませんし、5年後に必ず、というわけでもありません。ただ、その「瞬間」が来るまで、い

態で待つていられるか。逆に言えば今当たり前にできていることは、以前に熟成させた考への結果とも言えるかもしれません。そう考

えると、より一層、日ごろから物事に対する想いを大切です。

らゆる事に対するひつかかり、問題に対するヒントや答え。それに辿り着く方法の一つが読書であると思います。

「答え」に出会う手段として古本屋の本があげられるとするならば、「疑問や謎」を産みだす役割もまた、本は担うと思うのです。本によつて生まれた疑問を本で解決する瞬間。人のやりとりでの問題やトラブルを本での経験が解明してくれる瞬間。本によつて考えさせられた問題の解決策が、周囲の人との関わりで見えてくる瞬間。順序やタイミングはその都度変化するでしょうが、読書が我々に「学びの瞬間」を与える手助けをしてくれるのは確かです。

どんな本でもいい。これから出会う人や出来事に対して、熟成させた思考を持つて、「学びの瞬間」を待つてみること。この豊かで素敵して楽しい時間を、読書は

「コップの中の水を捨てる」など同じ「水を捨てる」でもいろいろな方法があるのです。

1年間、生徒の皆さんと話をしていて、勉強のことについて、「どうやつたら点数をとれるの?」「部活動のことについて、「得点を取りたい。」「いい音色を奏でたい。」「上手くなりたい。」など、多くの疑問や欲求を聞きました。

漠然とした、しかし確実に成し遂げたいこと、あるいは成し遂げなければならないこと。そのことに対しても漠然としたままにしていませんか。あるいは、考えること自体を辞めてしまふんか。

15 年間生きて来たわけですから、少しずつ自分の性格を知り、聞くだけではなく、「はどうするのか」と、考えなければなりません。コップの中の水の話に戻ります。コップを傾ける、

「コップの中の水を捨てる」など同じ「水を捨てる」でもいろいろな方法があるのです。

あなたはどうしますか?

おすすめの本の紹介

水を温めて蒸発させる、コップの底に穴を開ける、などなど。同じ「水を捨てる」でもいろいろな方法があるのです。

勉強でも部活でも同じです。

これは、自分以外の人間を見る時も同じことが言えます。日頃からこの工夫する力を養つておくと、人のほんの一面を見ただけで判断するのではなく、様々な角度から（物理的にも、心理的にも）見る力がついてきます。

れば昨日よりは続けられる

かもしない。「やりがい」や「楽しみ」を見いだせるかもしれません。いわゆるモチベーションにも繋がります。

読書は、その引っ掛かりを作るもの、つまり学びの瞬間を与えるものであり、脳内で熟成させる手助けをしてくれるものだと思いま

す。集中力が一時間持たなかつたら、三十分を 2 回に区切つてみる。

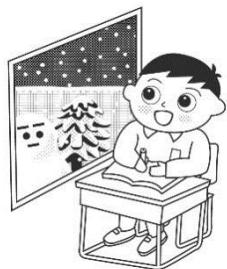
今まで眺めていただけの単語を、手を動かして書いてみる。

腹筋を鍛えるために、筋トレをするのではなく、日頃歩いているときにお腹に力を入れる。

勉強する。鍛える。やること、目指すべきことは変わりません。ただし方法を変えるのです。自分の性格や体质、環境にあつた方法を工夫し、実行するのです。

授業で教わったことを軸にして、自分で考えてみる。さらに言えば、今やつていける勉強や練習は「何を鍛えるためにやっているのか」を考える、ということです。

参考:『ウラからのぞけばオモテが見える』佐藤ナオキ 川上典李子 共著（デザインの本ですが全生徒におすすめ。）



「無限へのパスポート」

地歴公民科

「すべての人間は生まれながらに知ることを欲する。古代ギリシアの哲学者アリストテレスが述べるよう

に、知の探求は人間のみに許された高邁な精神的営為です。しかし昨今、わかりやすい言説のみがもてはやされ、みずから知を探究する機会が減つているように思われます。欧洲におけるポピュリズムの台頭はその最たる例でしょう。確かにわかりやすさも大切ですが、それだけでは眞の知に到達することはできません。やはり古典的名著を読み、深い教養を身につける必要があります。時代・地域を越えて読み継がれる古典的名著には普遍的価値があり、そこから多大な示唆を得ることができます。

それでは、どのような古典的名著を読めば良いのでしょうか。皆さんは、日本

本を選ぶと良いでしよう。私の場合は学問に興味があり、教壇に立つ者として学問の意義を日々模索しているので、マックス・ウェーバーの『職業としての学問』を読んでみました。

ウェーバーは世界史の教科書でもおなじみのドイツの社会学者ですが、『職業としての学問』は第一次世界大戦の敗戦で動搖するドイツ青年たちにウェーバーが語った講演をまとめた書です。この講演のテーマは、

①職業としての学問に対し、教師・研究者がとするべき心構え、②学問の職分の一点に帰着します。この講演は聴衆に脅かすような印象を与えたそうです。実際、本書を読むと、ウェーバーがまるで現前するかのごとき印象を受けます。ウェーバーについての解説は到底叶わないので、学問の心構え

ない人は、学問には縁遠い人々である。（中略）なぜなら、いやしくも人間としての自覚のあるものにとつて情熱なしにならうるすべては、無価値だからである。」「学問の領域で個性をもつのは、その個性ではなくて、その仕事に仕える人のみである。」

学問のみならずスポーツ・芸術に携わる者にも示唆を与える至言です。ウエーバーは「知的廉直」という言葉をよく使いますが、果たして私たちは日々の仕事（高校生であれば勉学・部活動・行事）に廉直に向き合っているでしょうか。自己を滅して専心すべき仕事を、自分の名を売るための手段のように考えていませんか。ウエーバーからすると、そのような浅薄な思慮では個性を永遠に獲得できません。自我を没却しないのです。

この講演のもう一つの重要なテーマは学問の職分です。私はそれが知りたくて本書を読んだのです。ウェーバーによると、学問の進歩は無限に続き、学問に終わりはありません。このような運命にある学間に意義はあるのでしょうか。ロシアの文豪トルストイは「いかに生きるべきかについてなにごともも答えないから学問は無意味な存在である」と放言し、ウェーバー自身も生きる意味について学問が答えないことには首肯しています。斯くて学問の意義の答えを本書に求めた私は絶望に打ちひしがれます。が、ウェーバーの真意は別のこところにあつたのです。
すなわち、学問は一切の政治的立場や価値判断から自由でなくてはならず、明確さと責任感を与えることが学問の実際生活への寄与で

彼の意を十分に汲み取れたとは思えません。しかし、あれこれ考えながら、今は亡き偉人と対話できたことは至福でした。学問の意義についても結局あまりわからませんでしたが、答えを性急に求めるのではなく、わからぬことを考え抜くことが学問の醍醐味であり学問の無限性そのものを積極的に評価すべきだと思いました。

史・世界史・古文・漢文などの授業でたくさんの名著

えについて述べたウエーバーの言説を瞥見しましょう

して仕事に献身するほどの情熱こそが学問に必要だと

あるというのが、ウエーバーの答えだつたのです。

「美しいものを知る」

理科

では次に難易度を少し上げて、橜円を描いてみましょう。橜円の数学的な定義は、二つの定点からの距離の和が一定となるような点の集合でできる曲線ですが、簡単に言えば円を押しつぶしたような形になります。では、消しゴムを使い何度も書き直せば、ただの円と同じように、理想の橜円に近づくからです。

私は十五年以上絵を描いていますが、未だに影の色に悩みます。絵は数学と違ひ、絶対的な解答が存在しないからです。実際にチーフを組み、写真を撮つてみれば、その写真が答えだと思う方がいるかもしれません。それは違います。絵はリアルである必要はありません。絵は嘘を描くことで、リアルを超えるのです。例えばジブリ映画で必ず食事シーンが入っています。そのシーンに登場する料理は、今すぐでも食う！)

もたらし、美しいと感じたから、その色を置くのです。画家は自らの美学を、絵を描くことで表現しているのです。逆に言えば、自らの美学がなく、何が美しいのかわからない人は、美しい絵を描くことはできないでしょう。

では、美学を持つためにはどうすればいいのでしょうか。絵を闇雲に描き続ければいいでしょうか。それも確かに大切でしよう。しかし、私が思う最も大切なことは、美しいものを知ることです。美しい権

はないので、この文章の美しさは程度が低いものかも知れませんが、私はできる限りの注意を払い、この文章が美しくなるように書き連ねたつもりです。この文章を書くに当たって、何かを参考にしているわけではありませんが、参考にしていないつもりでも、私がこれまで読んだ本の中から、美しいと感じた言葉遣いや言い回しを、使い回していくことでしょう。

もし私に本を読んだ経験がなければ、私にとってこの執筆は地獄の責め苦だつ

考えるにしても自己アピール文が必要になることがほんとんどです。

ペンをとつて円を描いてみてください。円の数学的な定義は、ある定点から距離の等しい点の集合でできる曲線です。一筆書きでと言われば困難ですが、消しゴムを使い何度も描きなおせば、理想の円に近づけていくことができるかと思

描ける人はそう多くはない
はずです。一般に、美しい
円のイメージを持つていろ
人はいても、美しい橢円の
イメージを持つている人け
どう多くないからです。(も
し、ばつちり橢円がかけて
いるなら、あなたはきっと
美術小数の関係者でしょ

絶対的な解答が存在しないのであれば、何が影の色を決めるのでしょうか。私が思うに、それは、画家自身が何を美しいと感じるかによって決めるのです。絵にはある程度の理屈はありますから、最終的には画家自身が、その色が会心調和を

らない人が、どれだけ時間
をかけても美しい絵にはな
らないのです。絵の上達と
は、自らが美しいと感じる
感性を磨き上げることに他
なりません。

さて、ここまで私は、千
百二十二字の文字を連ねま
した。私は勿書きが専門で

文章を書かずに生涯を終える人はほとんどいないでしよう。高校の間だけでも、大学を推薦入試で考えている人は、自己推薦書を書かなければいけませんし、入試当日にも小論文がある場合があるのでしよう。専門を

づけていくことはできるで
しょうか。恐らく、十分に
時間をかけ、何度も直しし
たとしても、美しい滑円が

べたくなるほどおいしさうに見えますが、それらは決してリアルな目玉焼きやベーコンではありません。

円を知らない人が、どれだけ時間をかけて楕円を描いても、眞の楕円に近づかなければ、美しいものを知

たに違いありません。美しい文章を知らなければ、自分が書いたものが良いのかどうなのかもわからなくなってしまう